

# 高齢者生き生き、「いやしの里・太良」

## 太良町を残して進めよう・町づくり---2

良夫 太良では65歳以上の高齢者が人口の25%になるんだね。  
太郎 以前にくらべてうんと長生きできるようになった。本当にいいことだともう。これからは、高齢者の割合がだんだん増えることを前提にした町づくりをしなければならないと思う。

### 買い物など日常の暮らしを応援する体制をつくる

良夫 高齢者といっても元気な人がいっぱいいるね。現役で働いている人もいれば、ゲートボールやカラオケをたのしんでいる人もいる。

太郎 そうだ。高齢者の福祉というのは、三つの点から考えなければならないと思う。まずひとつは、ずっと健康で、生活をたのしんでもらう。そのために、高齢者の健康づくりを進め、スポーツ・文化活動など高齢者が集まれる場をつくっていくことだ。

良夫 しおさい館でいろいろな催しもしているね。

太郎 二つ目は、体がだんだんいうことをきかなくなったときの日常生活の援助や介護の体制づくりだ。たとえば、山間部の高齢者世帯から電話で注文があれば、必要な品物を届けるとか、それぞれの地域に生活応援のヘルパーをボランティアで配置することだ。

良夫 太良は山間部に住んでいる人が多いから、高齢者の日常の暮らしを応援する体制が大切だね。

### 高齢者のチエ、ワザを太良の町づくりに生かす

太郎 三つ目は、高齢者のワザやチエを、太良の町づくりに発揮してもらうことだ。作物づくりや、工芸、食べ物作りが上手な高齢者がいっぱいいる。太良の民話や祭り・伝承に詳しい高齢者も多い。たとえば、最近、アワやキビなど雑穀を健康食として食べている人が太良でもふえているが、高齢者でもつくれる。軽量野菜もそうだ。高齢者のワザやチエを太良の町づくりの重要な分野として位置づけたらどうだろう。合併しないでがんばっている長野県栄村は、高齢者が村づくりで大きな役割をはたしている。雑穀を生産して村の収入を増やしているということだ。

良夫 高齢者の生きがいにもなるし、太良の文化や産業も発展する、本当にいいことだね。

#### 合併問題の話 出前いたします

ご家族、お友達が2~3人集まったら、声をかけてください。  
お伺いします

### 年間30億円近い年金---太良経済の大事な柱

太郎 太良の高齢者がもらっている年金は、国民年金で約19億円、厚生年金で約4億円、両方あわせて24億円をこえる。(14年度)

良夫 公務員の共済年金など他の年金も加えたら30億円近くになるのではないかな。

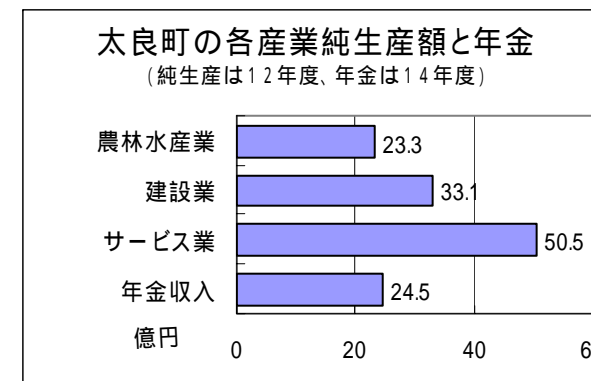
太郎 年金は、もちろん、高齢者の暮らしに使われているが、このお金が町内におちることによって、太良の経済をささえている。ここが大事だ。だから、町内の商店街のなかに、高齢者がくつろげるようなスペースをつくる。配達サービスもする。家屋

の修繕や電化製品の保守・修理など町内の業者が協力して応援態勢をつくる。文化・スポーツ活動を盛んにする---こんなふうにして、高齢者の大事な年金が町内をぐるぐるまわる仕組みを作ることが大事だ。30億円近い年金というのは、本当に太良の宝物だともうよ。

良夫 なるほど。「福祉は金を食う」とだけ考えるのは間違いだね。福祉を充実するということは、太良の経済の活性化につながっているんだね。町内の商店やサービス業が繁盛し、新しい仕事をつくり、若い人たちの働き口をつくることができる。そんな町づくりをぜひ、進めよう。

太郎 そして、もう一つ大事なことは、こんな町づくりは、地域に密着した行政でなければできないということだ。大きな市になったら、福祉と町づくりは、それぞれ別々におこなわれる。

良夫 だから、合併しないで太良町を残さねばならないんだね



### 合併反対・太良町を残そう

No.11 2004.2.18

発行 合併反対・太良町を残す町民協議会

連絡先 北町 川上賢二 Tel 67-9072

ホームページ <http://www2.saganet.ne.jp/ken-1941>

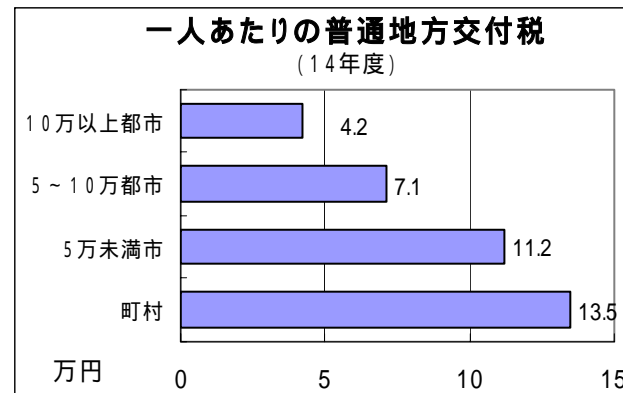
# 合併すれば、太良にマイナス！ 交付税のしくみ

良夫 太郎さんは、合併したら、太良町の行政サービスは悪くなる、公共事業もあまりなくなるとよく言っているけど、なぜ、そうなのか、わかりやすく説明してくれないかね。

## 合併すれば、減る仕組みになっている地方交付税

太郎 よし、今日は、地方交付税について勉強しよう。良夫さんは、地方交付税制度というのは知っているね。

良夫 教育、福祉など、国民にとって必要な仕事は、都会でも地方でも同じようにやらなければならない。ところが、太良のような農村は集まる地方税がすくないから、国全体でプールして配分する制度だね。



太郎 そのとおりだ。県内の市町村に実際にどれほどきているかまとめたのが上のグラフだ。町村、人口5万人未満の市(多久市、武雄市、鹿島市)、5万~10万未満の市(唐津市、鳥栖市、伊万里市)と10万以上の市(佐賀市)とならべてみた。

良夫 大きな市になるほど、住民一人あたりの地方交付税はすくないね。

太郎 そうなんだ。だから、国は地方に「おおきな市をつくれ」と合併を押しつけているんだ。

良夫 太良が鹿島と合併すると、地方交付税はどれほど減るんだろう？

太郎 合併した後の公共施設など詳細なデータがないと計算できないが、平均的には、合併前の1自治体あたり4~5億円は減るといわれている。

良夫 合併したら、地方交付税が減る分、人件費や経費を削らねばならないんだね。そうすると、合併協議会が言っているように、太良に総合支所を置くとか、個人負担なしの住民検診を鹿島まで広げるための財源が出てくるはずがないね。

### カンパありがとうございました

1月下旬くらい、町内外あわせて10名の方から資金カンパをいただきました。ありがとうございました。

引き続き、ご協力をおねがいします。

## 合併で減る教育、福祉、農業関係交付税 - - 太良にマイナス

太郎 つぎの表は、それぞれの項目で住民一人あたりの基準財政需要額をどれほどにみているか、県内の7市と42町村の平均をだしたものだ。

基準財政需要額---地方自治体が標準的な行政を行うのに必要な経費。各項目ごとに算出して合計をだす。その自治体の標準的な収入の合計を差し引き、その不足分が普通地方交付税額となる。

市と町村の基準財政需要額の比較(14年度) 金額の単位は1000円

項目	土木費	土木費のうち 道路橋梁費	土木費のうち 都市計画費、公園 費、下水道費	教育費	高齢者 保健福祉費 (65歳以上)	農業行政費	合計
	1人	1人	1人	1人	65歳以上1人	農家1戸	1人
7市平均	33.1	14.0	14.9	24.4	74.5	166.0	170.1
42町村平均	26.7	14.3	6.7	32.1	102.8	200.5	219.1

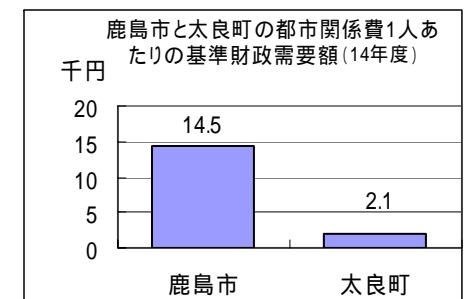
良夫 まとめてみよう。市の方が大きい項目は土木費と都市関係費だ。町村の方が大きいのは、教育費、高齢者保健福祉費、農業行政費。合計もそうだね。太良と鹿島が合併するとどうなる。

太郎 太良の一人あたりの教育費、高齢者保健福祉費、農業行政費などはへる。合併は、太良にとって、教育、福祉、農業施策の後退につながるということだね。

良夫 だけど、市になれば、土木費、とくに都市関係費はふえることになっているよ。

## 都市開発の交付税は鹿島にがっぱり - - -

太郎 右のグラフは、14年度の鹿島と太良の住民の一人あたりの都市関係費の基準財政需要額をくらべたものだ。下水道建設や中心部の再開発---鹿島は都市開発にぼう大な資金をひつようとしている。そこへ、優先的にまわることはまちがいないだろう。



良夫 そうすると、合併すれば全体として交付税が減額になるけど、それは、主に、太良の福祉や教育、農業関係の経費削減になるんだね。逆に、鹿島の都市関係費は優遇される。

太郎 そのとおりだ。鹿島中心部の都市機能強化のための財源確保---鹿島・太良の合併の本当の狙いはそこにあるのだと思う。